

高等学校 芸術科（書道） シラバス

2年間のねらい

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたって“書”を愛好する心情を育てるとともに、書に興味・関心を持ちつつ感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

第1・2学年 （芸術選択） 書道Ⅰ （2単位）	教科書	書Ⅰ（教育図書）
	材料用具	筆（大・小）、固形墨、半紙（漢字用・仮名用）、半切、印材、印刀、ビデオ、作品集等

学習到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書によさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の観点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ力・人間性等
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書によさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

学習方法

授業での制作、書の鑑賞、レポート

年間シラバス（1年間の学習予定表）

1年〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1学期	1. 用具・用材 2. 姿勢・執筆法 3. 書写から書道へ ●漢字の書 ◇漢字の成立と変遷 1 楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・腕の構え方、筆の持ち方、書く姿勢について、いろいろあることを理解する。 ・文字を正しく整えて書く学習活動から、起筆の穂先によって、さまざまな線の表現ができることを理解する。 ・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 	【評価の観点】 ◇知識・技能 ◇思考・判断・表現 ◇主体的に学ぶ力・人間性等 【評価方法】 提出作品… 7割 平常点… 3割 （授業態度・出欠・提出物）

		<ul style="list-style-type: none"> 半紙作品を競書大会に出品する。 	
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書 2行書 <p>条幅作品の制作</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の調和の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 腕の構え方、筆の持ち方、書く姿勢について、いろいろあることを理解する。 文字を正しく整えて書く学習活動から、起筆の穂先によって、さまざまな線の表現ができることを理解する。 漢字の成立と変遷について理解する。 楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 半紙作品を競書大会に出品する。 	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 落款と篆刻 	<ul style="list-style-type: none"> 書作品のまとめとして、落款の書き方やその効果について理解する。 篆刻の用具用材について理解し、篆刻の仕方について学習する。 	

2年〈週1時間〉

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書 3隷書 	<ul style="list-style-type: none"> 隷書の成立について学び、その特徴を理解する。 隷書の基本用筆として、横画、縦画、波磔、転折等の書き方を練習する。 古典の臨書・鑑賞し、その美を理解する。 半紙作品を競書大会に出品する。 学習した古典を、大きな紙に多字数を臨書する。 国際高校生選抜書展に出品する。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇知識・技能 ◇思考・判断・表現 ◇主体的に学ぶ力・人間性等 <p>【評価方法】</p> <p>提出作品... 7割 平常点... 3割 (授業態度・出欠・提出物)</p>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書 4草書 制作I 	<ul style="list-style-type: none"> 草書の成立について学び、その特徴を理解し練習する。(筆や硬筆で) 工芸的な要素を取り入れ、創作の楽しさを体感する。(刻字など) 	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の書 制作II 	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立や種類など理解する。 仮名の用具用材と特徴について理解する。 仮名の基本線・運筆・連綿などについて理解し練習する。 自宅に飾れる小作品を作る。(短冊・色紙・葉書など) 飾る場所に合った内容、表現方法を工夫し、今までに学んだもの、個性を十分に発揮する。 	